

令和6年度 延岡市立南中学校 学校評価書

南中学校区のめざす子ども像
 礼儀・行動・思いやり
 進んであいさつできる子ども 自ら考え、行動できる子ども 誰にでも優しくできる子ども

南中学校のめざす生徒像
 主体的に学習に取り組むことができる生徒 自他を認め合い思いやりと感謝の心をもつ生徒 自ら考え判断し行動できる生徒

学校経営ビジョン
 校訓「創造・感謝・共生」を基調とし、家庭や地域との連携を強化するとともに、学習指導、生徒指導の充実を図り、活気にあふれ、地域に誇れる学校づくりに努める。

南中学校の教育目標
 【み】未来を創り 【な】何事にも感謝の心もち 【み】認め合い高め合える生徒の育成

A：十分に達成されている B：ある程度達成されている C：課題が多い

No	項目	自己評価	学校運営協議会委員より
1	あいさつと楽しい学校生活について	<p>生徒、保護者ともに肯定的な回答が8割を超えていたが、職員は7割程度である。生徒は「自分の知っている人にはあいさつをちゃんしている」という捉え方をしている可能性があり、「誰に対してもあいさつができていない」と感じる職員との捉え方の違いが影響したと考えられる。</p> <p>今後も学級での指導や教科指導を通して日常的にあいさつの大切さを指導し、自ら進んで挨拶できる生徒の育成を目指したい。</p>	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世情から知り合いにしか挨拶出来ないのは仕方ないかもしれない。 ・挨拶は、将来に向けて大切なこと。社会人になって、挨拶が出来ない大人が実際にいる。引き続き、大切なことだと指導してほしい。 ・地域で出会う生徒はよく挨拶をしているように感じる。朝の立ち番指導をしている地域の方にはよく挨拶を返していると聞いている。毎朝、自宅前で子供たちによく声をかけてくださっている地域の方もおられる。

2	思いやり、豊かな人間関係について	<p>生徒、保護者ともに思いやりに対して肯定的な回答が9割近くであった。一方、職員は「とてもあてはまるはまる」が0、「まあまああてはまる」は5割程度であった。学校で見聞きする生徒の言動を考えたとき相手を煽ったり、さげすんだりする言葉も使っているため思いやりを感じるができないという意識の結果だと考えられる。</p> <p>思いやりや豊かな人間関係づくりを築くために今後も家庭と連携して望ましい人間関係づくりを意図的に行っていく必要がある。</p>	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思春期の難しさやメディアの影響もあるかと思うが、綺麗な言葉を使う児童生徒はあまりいないように感じる。家庭・学校での普段からの言葉遣いの学習は必要だと思う。もっと低学年からだと思うが。 ・相手の立場に立つ視点は、なかなか難しい指導だと思うが引き続きよろしく願いたい。 ・登下校中特に下校中、歩道上での友達同士の悪ふざけも時折見かける。聞こえてくる会話で、時にことばが荒いと感じることもある。 ・家庭と職員との意識の違いが気になる。強いつながりが育って欲しい。
3	学校行事・係活動・生徒会活動等への積極性について	<p>学校行事、係活動、生徒会活動等に積極的に取り組んでいると回答した割合が、どの対象も8割前後であった。このことから生徒は学校生活を楽しみながら、充実した活動を行えていると考えられる。今後も諸活動へ積極的に関わる機会を設定していきたい。</p>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災活動に参加していた生徒は非常に主体的に活動しているように感じた。 ・保護者よりも生徒の結果に学校の取組が充実していることが表れている。
4	授業への取組について	<p>授業への取組については三者とも8割程度はしっかり取り組んでいるという回答が出た。しかし、保護者からの記述には一部、授業の様子を危惧する意見も出ていたので、今後、更に職員間、学校保護者間で授業規律の共有と連携を図っていく必要がある。</p>	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の結果より授業に対する取組が不十分な生徒が見受けられる。改善に向け保護者と連携して取り組んでいただきたい。 ・前年度より大変改善されてきている。
5	家庭学習への取組について	<p>家庭学習への取組は生徒は半数以上がしっかり取り組んでいると答えているが、保護者、職員共にそう思っているのは半数以下である。保護者からの意見では「学校からプリント課題や自学を課して欲しい」という意見が複数見られた。</p> <p>学習について自ら課題を見つけ自ら学ぶことが求められているので、生徒への指導と保護者の理解を今後も継続して行っていく必要がある。</p>	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の自主性を伸ばせたら何よりだが、自主学習は生徒間の差が大きいのではないだろうか。ある程度負荷をかけた方がいいのではないかと思う。 ・小学校6年間続いていた自学がなくなり、自主的に学ぶ習慣が付いていないのではないだろうか。学習する事の意義について生徒、保護者にも繰り返しアナウンスする必要があると言える。

6	興味・関心・意欲を引き出す授業について	<p>生徒の興味・関心・意欲を引き出す授業の工夫について、教師側は9割以上が肯定的な意見を述べている。一方、生徒側は7割強、保護者は5割強といった回答にとどまっている。多くの職員はICT機器等も積極的に活用して自分の授業をブラッシュアップしているが、保護者はそのことを知る機会が少ないのでそういった取組を周知する工夫が必要である。</p>	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生方の努力を保護者にアピールした方がよい。PTA新聞に(こんな授業をしています)など、写真を載せてもよいのではないか。研究授業も学校内外でされていると思うので、一部にはなく学年関係なく広報したほうが、他学年にも(保護者にも)知る機会が増えると思う。 ・先日も、小学生がタブレットを使った学習発表を見る機会があった。驚きと感心しました。中学校も更に高度な学習をされていると思う。保護者の方に、知っていただく機会をつくってほしい。 ・家庭学習への取組にも関連するがタブレット端末を持ち帰らせての取組を検討していただきたい。(ロイロノートなどのアプリを活用した双方向の取組など) ・従来の学習方法と異なるため、保護者へ分かりやすく伝えることも大切になってくると思われる。
7	進路情報の提供や進路学習への取組について	<p>進路情報や進路学習への取組はどの学年でも積極的に行っている。特に高校やキャリア教育支援センターなどの外部の機関の利用も積極的である。進路情報＝進学情報と捉えられている可能性があり、保護者、生徒が低めに出ている。「進路情報」→「求められるキャリア教育」についての認識の変化をしっかりと保護者にも伝える必要がある。</p>	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭に、その取り組みの広報が足りないのでは？進路は家庭での親子の話込みが大切なので熱く先生方も保護者に語って欲しい。 ・キャリア教育の充実は非常に重要であると考え。社会が求める姿と育てる姿のミスマッチがないかの検証も必要では。 ・授業の工夫同様に双方向のコミュニケーション不足も考えられる。
8	交通ルールやマナーを守った登下校について	<p>本校は国道10号線を横断して登校してくる生徒も多く、学校周辺には狭い路地も多い。生徒も保護者も通い慣れた道なので安全に登校できていると思っているが、実際は近隣からの登下校に関する苦情も多く、職員が下校指導にあたる事も多いため意識の大きな齟齬が生じていると感じる。 今後も警察とも連携を図って、安全な交通ルールやマナーの指導に取り組んでいく必要がある。</p>	<p>C</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団で歩道を塞いだり騒いだりも見かける。引き続き指導宜しくお願ひします。 ・踏切・国道も有り、心配な箇所が多い。安全意識をもっと高めるために繰り返し指導していただきたい。ルールを守ることが命を守ることに繋がると思う。

9	いじめを許さない心の育成について	<p>生徒、保護者共に肯定的な回答した割合が9割を超えているが、職員の方は肯定的な回答は7割弱であった。これは校内での生徒の言動を見た際に一部の生徒から人権上問題となる発言が出ており、そのことが影響していると思われる。</p> <p>本校では年間数回の人権に関する学習を全校生徒対象に行っているため、今後も継続して取り組み、その様子を積極的に家庭や地域に発信していく必要がある。</p>	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き指導宜しく願います。先生方の生徒間のふざけとイジメの線引の差が無いように願いたい。 言葉の暴力は、スルーされがちなので、引き続きご指導願います。
10	生徒一人一人への声かけについて	<p>生徒、職員共に8割程度は肯定的に捉えているが、保護者は7割弱程度しかその意見が見られない。学級や部活動の指導などで保護者への連絡が不十分な部分もあったことが影響していると思われる。また、学校からの連絡は問題行動を起こしたときの連絡になりがちなので、普段からよい面の気づきなどを大切にしていよい面の連絡を積極的に入れてもらえるよう職員にも周知していきたい。</p>	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き宜しく願います。 保護者へ情報の開示、連絡を密にするなど、お知らせメールだけでなく、電話などを活用していただきたい。 生徒、職員が関わりを持っていてと認識していることはすばらしい。保護者と生徒・情報の共有化が必要。
11	心配事や悩み事への相談、協力体制について	<p>生徒指導への対応で職員間の協力体制がとれていると感じている職員は8割程度だが、それが生徒、保護者に対しての「相談しやすさ」には繋がっていない結果であった。交通ルールでも触れたがより効果的な声かけのタイミングやスキルを研修する必要がある。</p> <p>また、養護教諭や生徒指導支援員にも性との悩みなどの情報を共有し積極的に相談に応じることが出来る対応を今後も準備していきたい。一方、チームで生徒の問題に取り組む環境を更に構築していく必要がある。</p>	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> 頑張っていると思う。会う機会がないと、話辛い事も多いので、保護者が相談し辛いと感じるかも。保護者を学校に引き入れる機会を増やせばいいと思う。 保護者へ情報の開示、連絡を密にするなど、お知らせメールだけでなく、電話などを活用していただきたい。
12	学校行事や地区行事への主体的な参加について	<p>全体として肯定的な意見は7割程度であった。これは一部の地域では地域を挙げての行事(祭りや地域奉仕活動など)が活発で、そういった行事に関わる機会もあるが、全体的にはそういった行事が減ってきていることも影響していると思われる。</p> <p>今後も学校の行事へは地域へ案内し、地域の行事へは生徒だけでなく学校としても顔を出せるよう働きかけていきたい。</p>	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> 区に入っていない場合、地域の行事が十分伝わっていないケースもあるのかもしれない。自分の所属する区でも中学生の参加は少ない。(区によって情報提供に違いはあると思うが) 地域との関わりを増やして欲しい。

13	部活動を通じた体力向上について	<p>部活動に限らず、クラブ活動等の広がりもあり7割以上の肯定的な意見が見られる。その一方で、部活時間の短縮や休日部活動の調整など保護者世代や以前から部活に関わっている職員から見ると運動量の低下が気になっている可能性もある。</p> <p>平日は1時間半、休日も3時間程度と以前に比べ活動時間が大幅に見直されている。量より質を大切に職員への過度な負担にならないよう、内容の濃い活動を計画していく必要がある。</p>	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革などの兼合いが難しいと思うが、無駄・無理のない運動計画を工夫して頂き、密度の濃いものにしてほしい。 ・部活を知る昔の人間としては、世の流れで仕方ないことかなと理解するが、運動量の低下は喫緊の課題と思う。 ・7割以上の肯定的な意見で安心した。
14	防災教育や安全教育への取組について	<p>今年度は北緑ヶ丘地区住民の避難訓練も市役所や富士通と共同で実施できたので肯定的な意見が多かった。その一方で避難所としてみたときの学校の課題も出てきているので今後、継続的にその課題解消に向けて検討していく必要がある。</p>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き宜しくお願い致します。危機感を持って。 ・8の交通教育と、同様に大切な教育だと思う。 ・北緑ヶ丘地区に限らず校区内全体の取組も将来的にはできるといいですね。 ・限定地域での実施だったが、市役所、富士通と共同で実施できたことは、次に繋がる大きな取組だと思う。
15	スマートフォンやSNS利用について	<p>肯定的な意見が生徒（90%超）、保護者（70%）、職員（25%）と大きな齟齬が生じている。これはそれぞれの立場の認識のずれが大きいことが原因であるので、学校としては継続して情報機器と上手に付き合うための注意喚起を継続して行うことと、携帯電話の運営会社等の専門スタッフなどにも協力をもらうメディアリテラシーに関する指導を行う必要がある。</p>	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き宜しくお願い致します。保護者にも家庭でスマートフォンの使用の在り方について、子どもと話し合う機会を設けていただきたいと思います。 ・スマホを利用した悪質なサイトなどもあるので、引き続きご指導お願いいたします。 ・早い時期からの子ども向け研修は今の時代必須であると思う。 ・家庭内でルールの認識をすりあわせる機会を増やしよりよいコミュニケーションを図ることが重要。
16	職員の生徒や保護者との関わりについて	<p>生徒、職員ともに8~9割程度は肯定的な意見である。また保護者も7割以上なので今後も質問や問い合わせに丁寧に対応する姿勢を継続していきたい。</p>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き宜しくお願い致します。 ・丁寧な対応に安心している。

17	メールやホームページを利用した情報発信について	<p>生徒、保護者、職員と肯定的な意見が増えている。今年度は学校HPの更新頻度も高く、また学校からの文書もメールアプリに添付するようにして積極的に発信しているので、今後も継続して行きたい。</p>	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き宜しくお願い致します。 ・リアルタイムの積極的な情報発信は学校運営協議会メンバーとしても大変ありがたい。部活動の結果などを見て、近くの生徒への声掛けもしやすい。 ・文書もメールアプリになったことで確実な情報把握ができ、利便性が高く、コスト削減等多くのメリットがある。
----	-------------------------	--	---